

令和6年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要

江別市立小・中学校における調査結果

I	調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ～ 2
II	体格と肥満度に関する調査の結果	
1	小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	中学校・・・・・・・・・・・・・・・・	4
III	実技検査の結果	
1	小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	5 ～ 6
2	中学校・・・・・・・・・・・・・・・・	7 ～ 8
IV	児童・生徒質問紙調査の結果	
1	小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	9～11
2	中学校・・・・・・・・・・・・・・・・	12～14
V	学校質問紙調査の結果・・・・・・・・	15～17



江別市教育委員会

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

I 調 査 の 概 要

1 調査の目的

子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

3 調査の内容

①児童・生徒に対する調査

ア、実技に関する調査（測定方法等は新体力テストの方法による。）

〔小学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走／20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
（持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）

イ、質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

②学校に対する質問紙調査

ア、子どもの体力・運動能力等の向上に関する取組の調査

イ、実施状況に関する調査

4 調査期間

令和6年4月から令和6年7月末までの期間で実施

5 参加状況（公立学校）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
全 国（Ｒ６）	18,845 校	981,865 人	9,891 校	869,813 人
北海道(札幌市を含む)	955 校	36,664 人	591 校	33,687 人
江別市	17 校	949 人	8 校	823 人

6 用語解説

体力テスト種目	単位	体力要素	測 定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤ 20mシャトルラン 持久走（中学校選択）	回 秒	全身持久力 全身持久力・長距離走能力	20m走行の折り返し回数 男子1500m、女子1000mの走行時間
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ ソフトボール投げ（小学校） ハンドボール投げ（中学校）	m m	巧緻性・投球能力 巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離 ハンドボールを遠投した距離
体力合計点	点	8 種目の体力テスト成績を 1 点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価	5 段階	8 種目の体力テストの合計得点の良い方から、ABCDEの 5 段階で評定した体力の総合評価	

用 語	解 説
標本数	平均値、標準偏差、T 得点を算出した人数
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の 3 倍の範囲内にほぼ全体が入る。 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
T 得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T 得点=50+10×（調査結果-平均値）/標準偏差」

* 公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

* 国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

＜標準体重と肥満度判定＞「児童・生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より
平成27年8月25日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

標準体重を求める係数

年 齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9（小4）	0.687	61.390	0.652	56.992
10（小5）	0.752	70.461	0.730	68.091
11（小6）	0.782	75.106	0.803	78.846
12（中1）	0.783	75.642	0.796	76.934
13（中2）	0.815	81.348	0.655	54.234
14（中3）	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
20%以上	肥満
19.9～-19.9%	普通
-20%以下	痩身

※平成18年度以降、算出・判定方法は変更していない。

Ⅱ-1 体格と肥満度に関する調査の結果(小学校)

＜小学校＞

○体格について、男子は「身長」・「体重」ともに全国平均をやや上回っている。女子は「身長」・「体重」ともにほぼ同程度である。本市昨年度の実測値との比較では、男子は「身長」・「体重」ともにほぼ同程度で、女子も「身長」・「体重」ともにほぼ同程度である。

○肥満・痩身傾向について、男子の肥満は全国平均を3.3ポイント上回り、痩身は全国平均とほぼ同程度である。女子の肥満は全国平均とほぼ同程度であり、痩身は1.5ポイント上回っている。

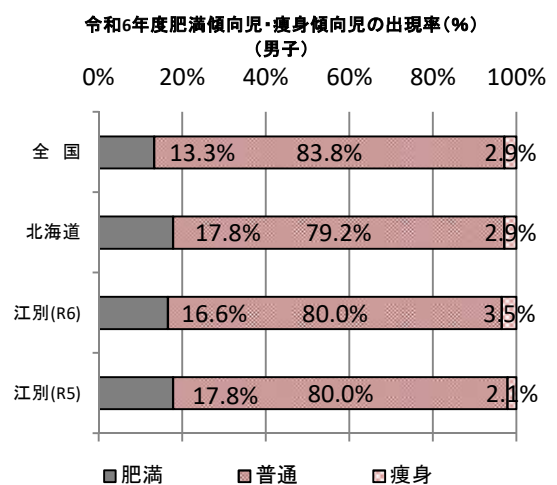
○運動量が減少すると肥満傾向につながるため、学校・家庭では「日常の運動の奨励」を継続するとともに、痩身傾向も含め「食育の指導」を通して健康に過ごせる体づくりとその意義の理解について取り組む必要がある。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

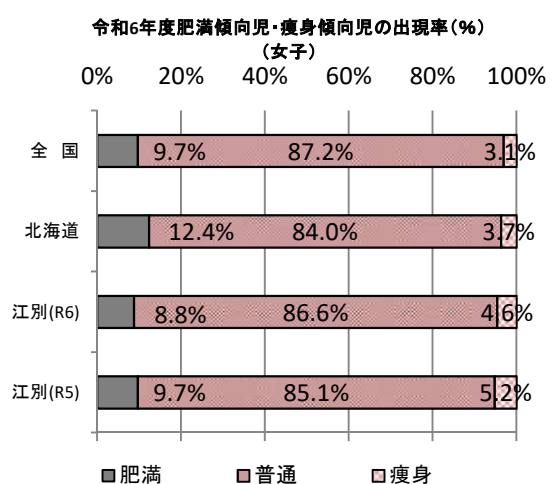
①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+-1点以内……ほぼ同程度

④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校男子		全国	北海道	R6江別	T得点	R5江別	T得点
身長(cm)		139.53	140.17	140.43	51.4	140.33	51.1
体重(kg)		35.16	36.56	36.69	51.9	36.84	51.9
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	13.3%	17.8%	16.6%		17.8%	
	普通	83.8%	79.2%	80.0%		80.0%	
	痩身	2.9%	2.9%	3.5%		2.1%	



小学校女子		全国	北海道	R6江別	T得点	R5江別	T得点
身長(cm)		140.96	141.64	141.26	50.4	142.06	51.1
体重(kg)		34.92	35.82	35.01	50.1	35.58	50.4
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	9.7%	12.4%	8.8%		9.7%	
	普通	87.2%	84.0%	86.6%		85.1%	
	痩身	3.1%	3.7%	4.6%		5.2%	



Ⅱ-2 体格と肥満度に関する調査の結果(中学校)

〈中学校〉

○体格について、男子は「身長」・「体重」ともに全国平均とほぼ同程度である。女子の「身長」は全国平均をやや上回り、「体重」はほぼ同程度である。本市昨年度の実測値との比較では、男子は「身長」・「体重」ともにほぼ同程度で、女子も「身長」・「体重」ともにほぼ同程度である。

○肥満痩身傾向について、男子の肥満は全国平均を2.8ポイント上回り、痩身も全国平均を2.0ポイント上回っている。女子の肥満は全国平均を1.8ポイント下回り、痩身は1.7ポイント上回っている。

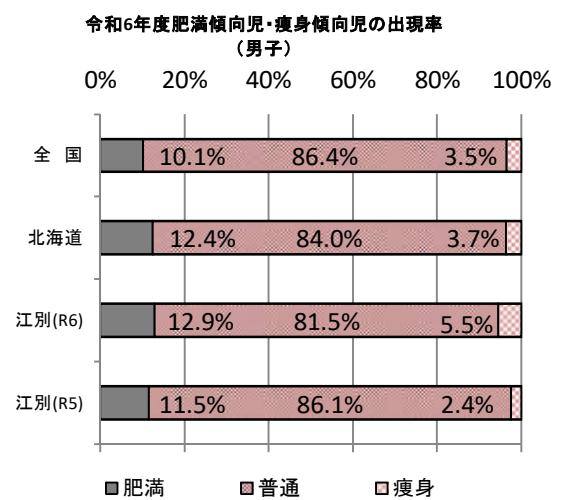
○運動量が減少すると肥満傾向につながるため、小学校と同様に、学校・家庭では「日常の運動の奨励」を継続するとともに、痩身傾向も含め「食育の指導」を通して健康に過ごせる体づくりとその意義の理解について取り組む必要がある。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

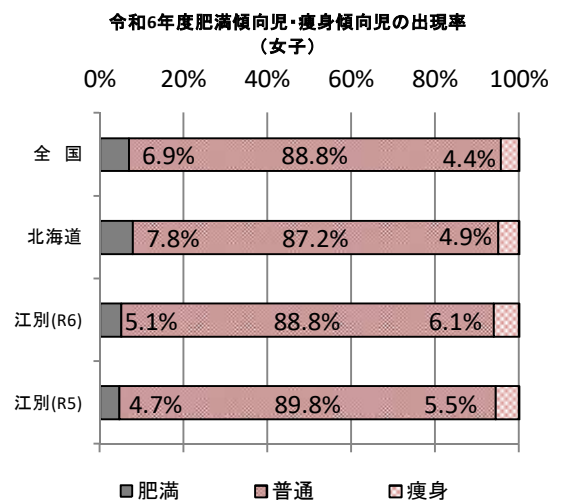
①2点をを超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度

④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点をを超えて低い……下回っている

中学校男子		全国	北海道	R6江別	T得点	R5江別	T得点
身長(cm)		161.29	162.32	162.02	51.0	161.84	50.9
体重(kg)		50.10	51.71	50.97	50.9	51.05	50.8
肥満・痩身傾向児の出現率(%)	肥満	10.1%	12.4%	12.9%		11.5%	
	普通	86.4%	84.0%	81.5%		86.1%	
	痩身	3.5%	3.7%	5.5%		2.4%	



中学校女子		全国	北海道	R6江別	T得点	R5江別	T得点
身長(cm)		155.94	155.42	155.94	51.7	155.14	50.4
体重(kg)		46.77	47.12	46.37	49.5	46.20	49.1
肥満・痩身傾向児の出現率(%)	肥満	6.9%	7.8%	5.1%		4.7%	
	普通	88.8%	87.2%	88.8%		89.8%	
	痩身	4.4%	4.9%	6.1%		5.5%	



Ⅲ-1 実技検査の結果(小学校男子)

＜小学校男子＞

○体力合計点は51.9ポイントで全国平均をやや上回っている。「握力」、「反復横とび」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」は全国平均を上回り、「上体起こし」、「長座体前屈」はやや上回り、「20mシャトルラン」は全国平均とほぼ同程度であるが、「50m走」は全国平均を下回っている。

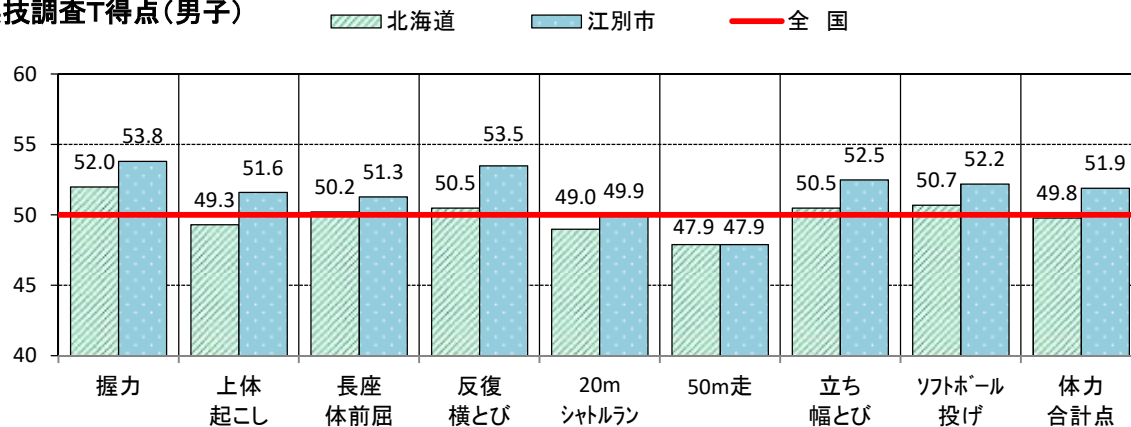
○「50m走」が全国平均を下回っており、「20mシャトルラン」がほぼ同程度であることから、疾走能力や全身持久力を上げる取組を推進する必要がある。さらに体の柔らかさを示す「長座体前屈」は全国平均をやや上回っているものの過去の経緯を踏まえ柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

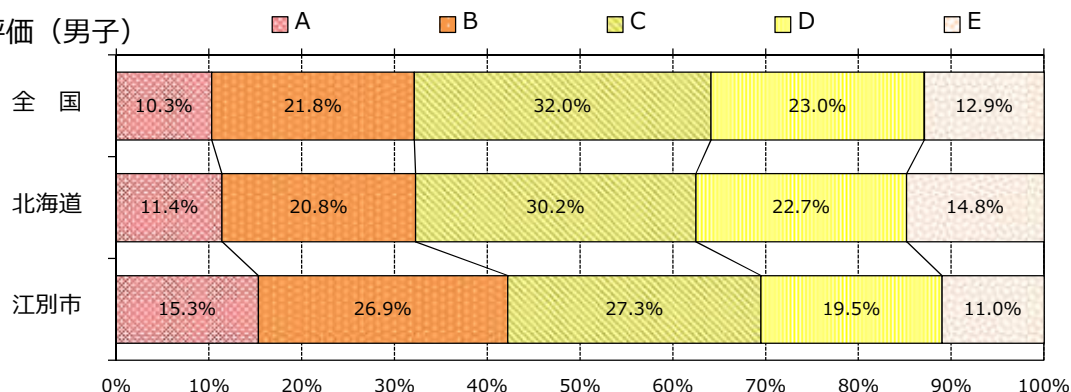
- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+-1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校 男子	全 国	北海道	R6江別市	T得点	R5江別市	T得点
握力(kg)	16.01	16.78	17.47	53.8	17.76	54.2
上体起こし(回)	19.19	18.76	20.17	51.6	19.39	50.6
長座体前屈(cm)	33.79	33.93	34.95	51.3	34.62	50.7
反復横とび(点)	40.66	41.06	43.51	53.5	43.26	53.2
20mシャトルラン(回)	46.90	44.76	46.73	49.9	46.37	49.7
50m走(秒)	9.50	9.74	9.74	47.9	9.72	47.9
立ち幅とび(cm)	150.42	151.60	156.37	52.5	156.30	52.2
ソフトボール投げ(m)	20.75	21.33	22.54	52.2	21.53	51.2
体力合計点(点)	52.53	52.32	54.32	51.9	54.06	51.5
総合評価(%)	A	10.3%	11.4%	15.3%	10.7%	
	B	21.8%	20.8%	26.9%	26.1%	
	C	32.0%	30.2%	27.3%	35.5%	
	D	23.0%	22.7%	19.5%	19.3%	
	E	12.9%	14.8%	11.0%	8.3%	

実技調査T得点(男子)



総合評価(男子)



Ⅲ－１ 実技検査の結果(小学校女子)

＜小学校女子＞

○体力合計点は50.9ポイントで全国平均とほぼ同程度である。「握力」、「反復横とび」は全国平均を上回り、「立ち幅とび」はやや上回り、「上体起こし」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。「50m走」は全国平均をやや下回っている。

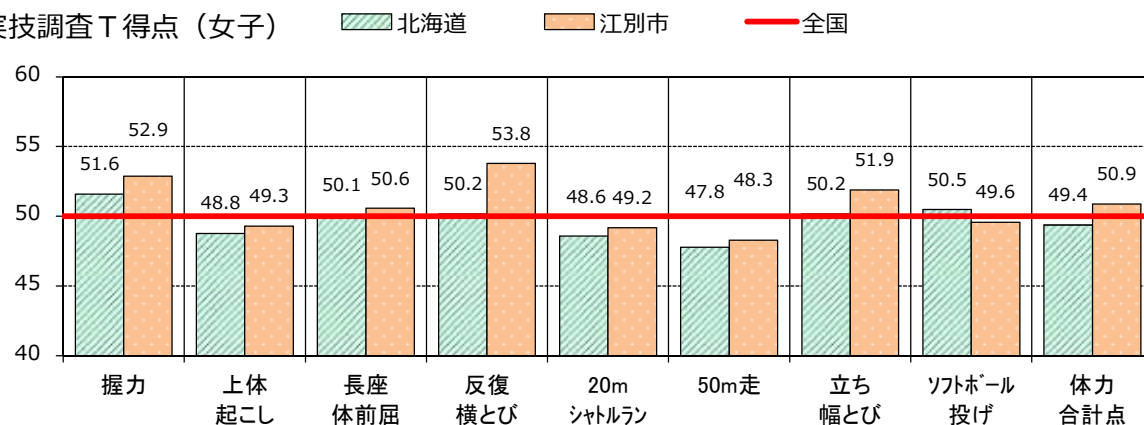
○「50m走」が全国平均をやや下回っており、「20mシャトルラン」が全国平均とほぼ同程度であることから、疾走能力や全身持久力の改善に向けた取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」は全国平均とほぼ同程度であるがこれまでの経緯を踏まえ柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

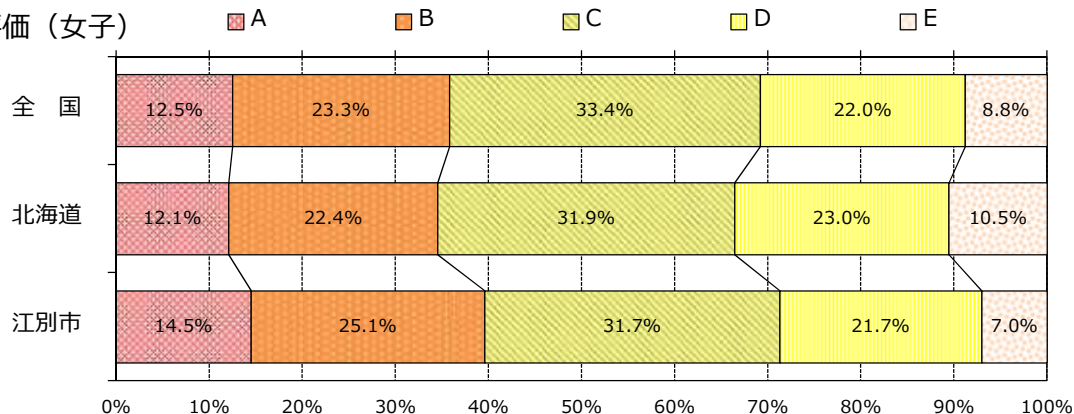
- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校女子	全 国	北海道	R6江別市	T得点	R5江別市	T得点
握力(kg)	15.77	16.41	16.90	52.9	17.26	53.2
上体起こし(回)	18.16	17.50	17.79	49.3	18.00	49.9
長座体前屈(cm)	38.19	38.27	38.71	50.6	38.83	50.4
反復横とび(点)	38.70	38.88	41.53	53.8	41.66	53.9
20mシャトルラン(回)	36.59	34.36	35.24	49.2	36.62	49.9
50m走(秒)	9.77	9.98	9.94	48.3	9.98	47.1
立ち幅とび(cm)	143.13	143.56	147.32	51.9	148.24	51.8
ソフトボール投げ(m)	13.15	13.40	12.95	49.6	14.03	51.7
体力合計点(点)	53.92	53.37	54.75	50.9	55.49	51.3
総合評価(%)	A	12.5%	12.1%	14.5%	15.3%	
	B	23.3%	22.4%	25.1%	30.2%	
	C	33.4%	31.9%	31.7%	28.2%	
	D	22.0%	23.0%	21.7%	20.6%	
	E	8.8%	10.5%	7.0%	5.8%	

実技調査T得点(女子)



総合評価(女子)



Ⅲ－２ 実技検査の結果(中学校男子)

＜中学校男子＞

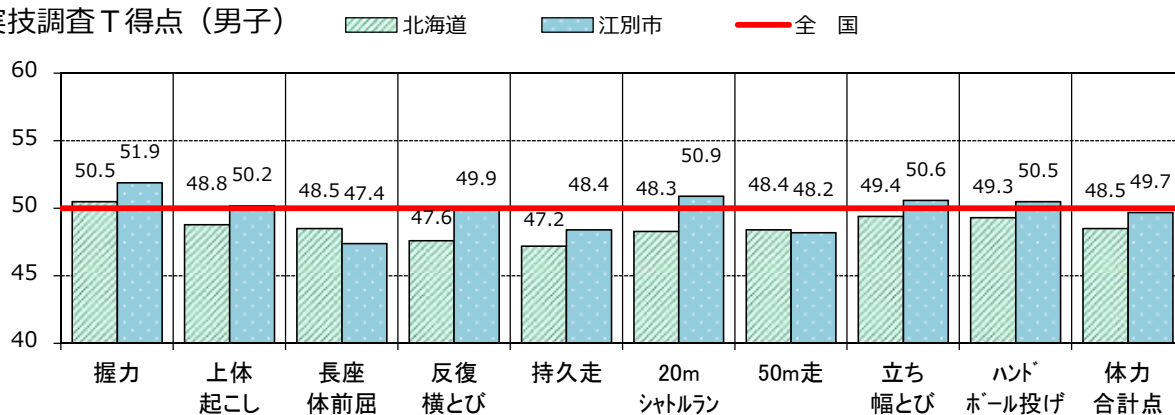
○体力合計点は49.7ポイントで全国平均とほぼ同程度である。「握力」は全国平均をやや上回り、「上体起こし」、「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」はほぼ同程度である。「持久走」、「50m走」はやや下回り、「長座体前屈」は下回っている。
○「50m走」が全国平均をやや下回っていることから疾走能力や全身持久力を上げる取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」が全国平均を下回っていることから柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

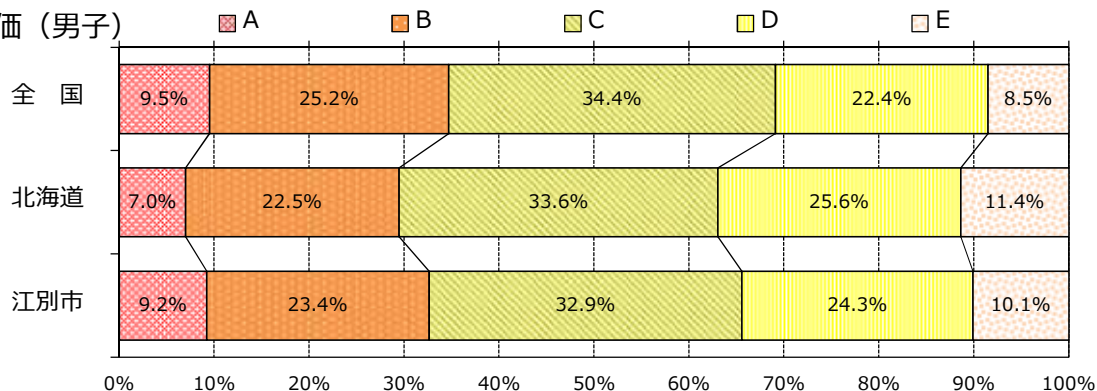
- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校男子		全 国	北海道	R6江別市	T得点	R5江別市	T得点
握力(kg)		28.95	29.29	30.35	51.9	30.55	52.1
上体起こし(回)		25.94	25.16	26.04	50.2	25.97	50.2
長座体前屈(cm)		44.47	42.78	41.53	47.4	42.25	48.3
反復横とび(点)		51.51	49.28	51.37	49.9	51.67	50.5
持久走(秒)		410.69	431.27	422.17	48.4	350.25	58.6
20mシャトルラン(回)		78.98	74.59	81.35	50.9	75.08	48.8
50m走(秒)		7.99	8.14	8.16	48.2	8.18	48.1
立ち幅とび(cm)		197.18	195.17	199.19	50.6	200.67	51.2
ハンドボール投げ(m)		20.57	20.14	20.88	50.5	20.30	49.8
体力合計点(点)		41.86	40.18	41.55	49.7	40.96	49.7
総合評価(%)	A	9.5%	7.0%	9.2%		8.1%	
	B	25.2%	22.5%	23.4%		23.7%	
	C	34.4%	33.6%	32.9%		35.1%	
	D	22.4%	25.6%	24.3%		22.8%	
	E	8.5%	11.4%	10.1%		10.3%	

実技調査T得点(男子)



総合評価(男子)



Ⅲ－２ 実技検査の結果(中学校女子)

＜中学校女子＞

○体力合計点は49.1ポイントで全国平均とほぼ同程度である。前年度と比較して体力合計点はやや回復しているが、総合的に体力向上に取り組まなければならない。「握力」は全国平均を上回り、「上体起こし」、「反復横とび」、「持久走」、「20mシャトルラン」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」は全国平均とほぼ同程度である。「長座体前屈」、「50m走」はやや下回っている。

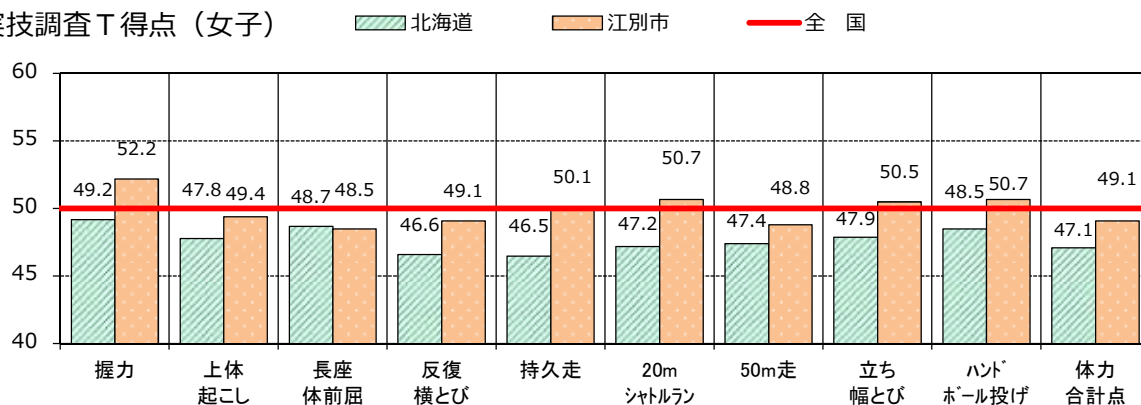
○「50m走」が全国平均をやや下回っており、疾走能力を上げる取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」が全国平均をやや下回っていることから、柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国の前年度値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

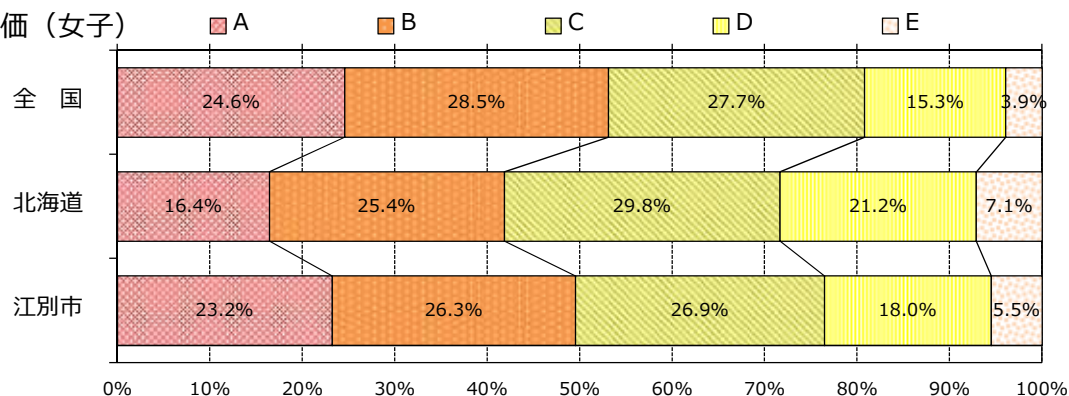
- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校女子	全 国	北海道	R6江別市	T得点	R5江別市	T得点
握力(kg)	23.18	22.81	24.23	52.2	23.43	50.6
上体起こし(回)	21.56	20.24	21.19	49.4	20.11	47.5
長座体前屈(cm)	46.47	45.04	44.79	48.5	43.54	47.4
反復横とび(点)	45.65	42.98	44.91	49.1	45.89	50.3
持久走(秒)	309.02	326.94	308.37	50.1	288.69	53.6
20mシャトルラン(回)	50.67	45.26	51.96	50.7	47.83	48.5
50m走(秒)	8.96	9.19	9.07	48.8	9.10	48.3
立ち幅とび(cm)	166.32	160.40	167.85	50.5	165.90	49.8
ハンドボール投げ(m)	12.40	11.75	12.72	50.7	11.49	47.8
体力合計点(点)	47.37	43.96	46.35	49.1	45.07	48.2
総合評価(%)	A	24.6%	16.4%	23.2%	19.3%	
	B	28.5%	25.4%	26.3%	29.3%	
	C	27.7%	29.8%	26.9%	24.7%	
	D	15.3%	21.2%	18.0%	20.7%	
	E	3.9%	7.1%	5.5%	6.0%	

実技調査T得点(女子)



総合評価(女子)



IV-1 児童質問紙調査の結果(小学校)

<運動習慣の状況>

○運動が「好き」・「やや好き」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均とほぼ同程度である。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はやや下回り、女子はほぼ同程度である。

○運動することが「大切」・「やや大切」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均をやや上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともにほぼ同程度である。

○中学校で自主的に運動したいと「思う」・「やや思う」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均をやや上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はほぼ同程度であるが、女子はやや上回っている。

○体育の授業以外での1週間の総運動時間は、男女ともに全国平均を上回っている。

○「中学校で自主的に運動したい」と思う肯定的回答が男女ともに全国平均をやや上回っているが、体を動かすことの楽しさを強く実感させるなど、運動への意欲付けや、運動機会を積極的に設定していかなければならない。

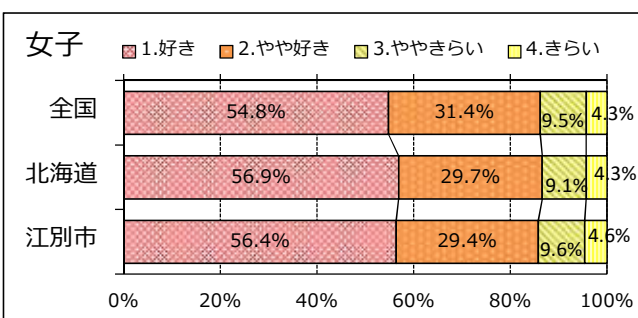
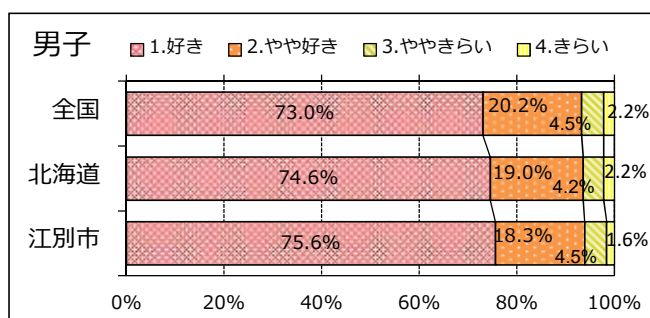
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の平均値、質問の割合に対し、

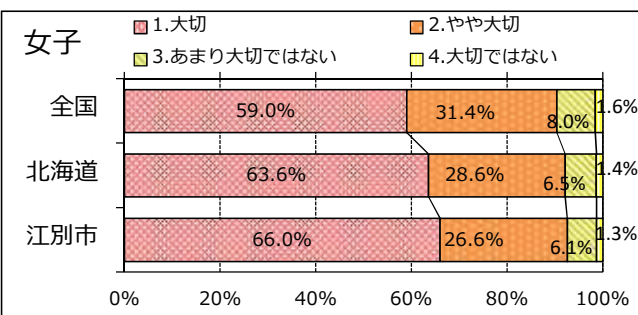
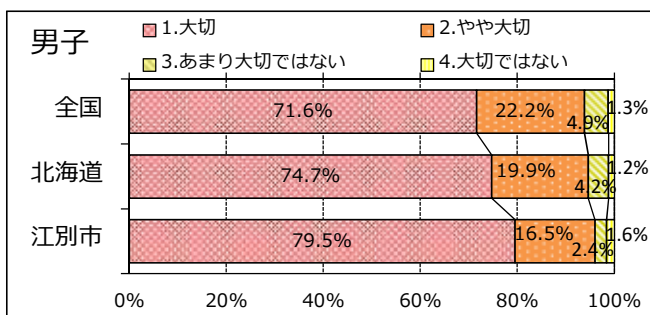
① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度

④ -1ポイント超～-5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

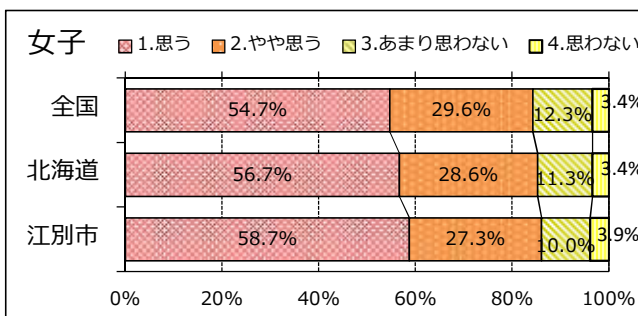
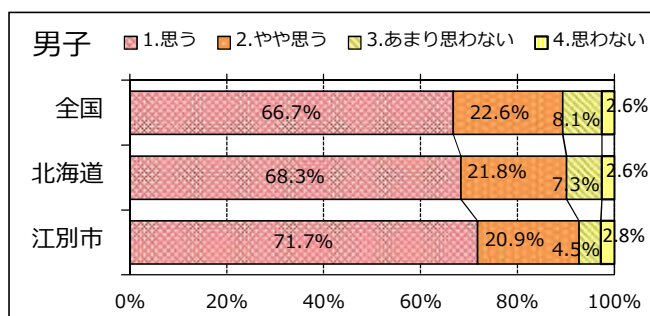
運動が好きですか



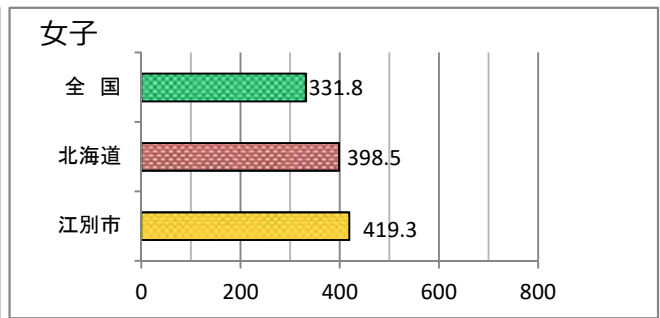
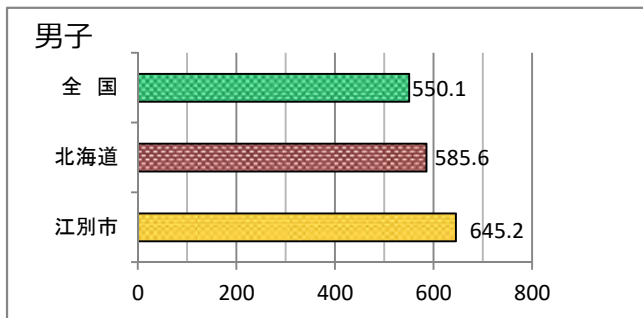
運動することは大切なことですか



中学校で自主的に運動したいですか



体育の授業以外の1週間の総運動時間(北海道の記録には札幌市を含まない)



＜体育の授業＞

○体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均とほぼ同程度である。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともにほぼ同程度である。

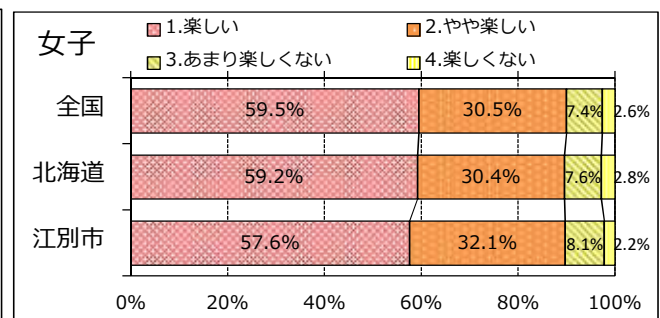
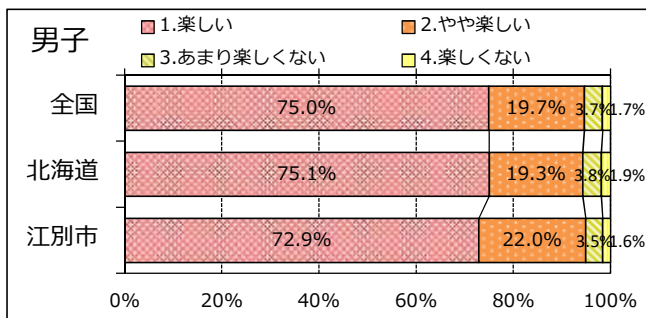
○体育の授業について、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した児童の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度で、女子はやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともにほぼ同程度である。

○体育の授業について、ICTを使った学習で『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した児童の割合は、男子は全国平均をやや上回り、女子は上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともに上回っている。

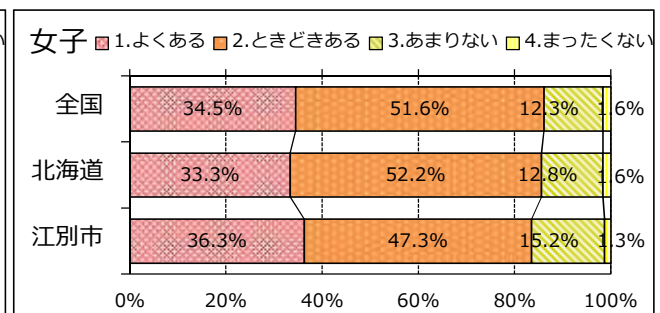
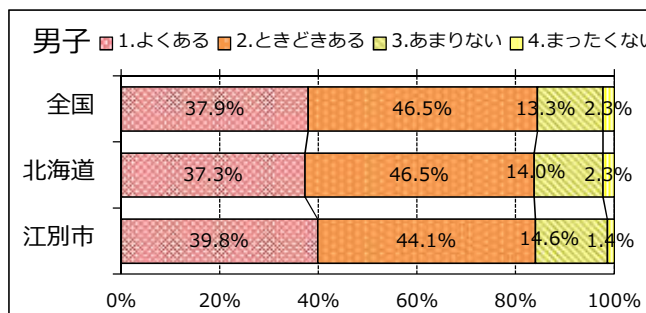
○体力・運動能力向上の目標を立てているかについて、男子は全国平均とほぼ同程度で、女子はやや上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はほぼ同程度で、女子はやや上回っている。

○授業では今後も目的やねらい、振り返りを明確にした授業を行い、授業改善に向けて継続して取り組んでいく必要がある。

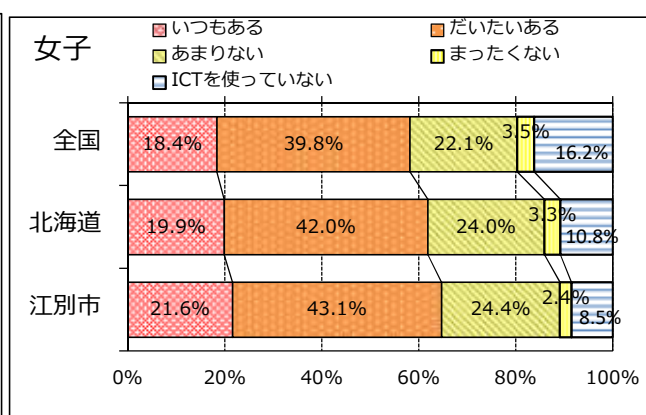
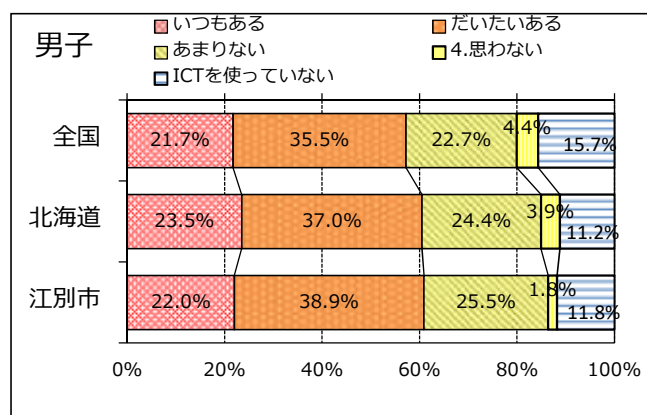
体育の授業は楽しいですか



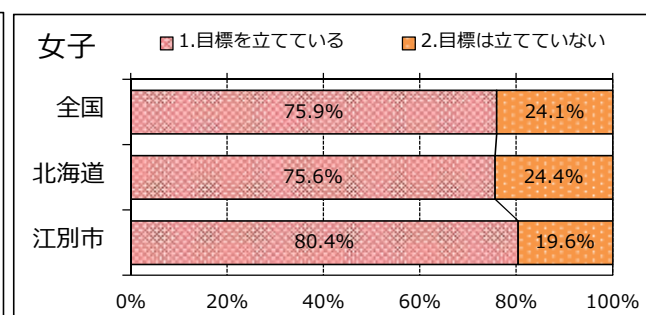
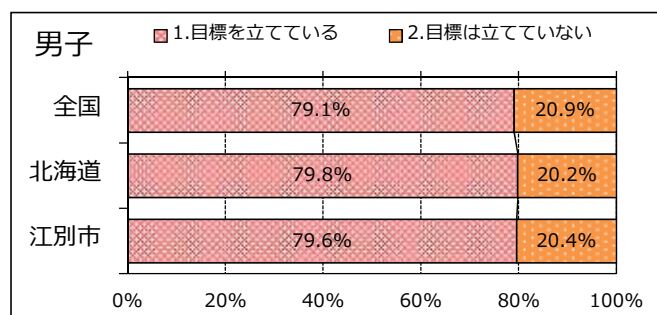
体育の授業で、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがあるか



体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあるか



体力・運動能力向上の目標を立てているか



Ⅳ－２ 生徒質問紙調査の結果（中学校）

＜運動習慣の状況＞

○運動が「好き」「やや好き」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度で、女子はやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はやや上回り、女子はほぼ同程度となっている。

○運動することが「大切」「やや大切」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均をやや下回り、女子はほぼ同程度となっている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はやや上回り、女子は上回っている。

○中学校卒業後も自主的に運動したいと「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均をやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともにやや上回っている。

○保健体育の授業以外での1週間の総運動時間は、男女ともに全国平均を上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、平均値で男子は88.0時間、女子は48.0時間の増となっている。

○保健体育の授業以外の1週間の運動時間は回復傾向にある。また、「運動することが好き」「運動することは大切なこと」「中学校卒業後も自主的に運動したい」に対する肯定的な回答が本市前年度調査結果を上回っているものの、全国平均を下回っている。今後はさらに運動に興味・関心を持たせ、体を動かすことの楽しさを実感させるなど運動への意欲付けを図り、運動機会を積極的に設定していかなければならない。

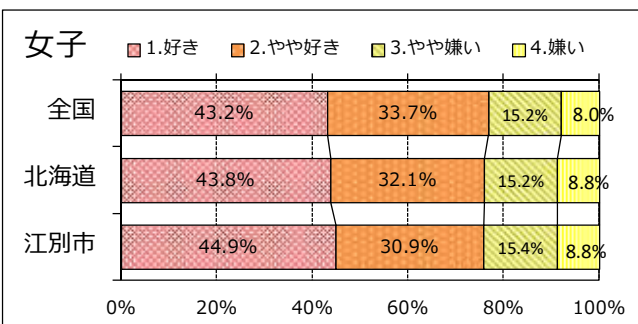
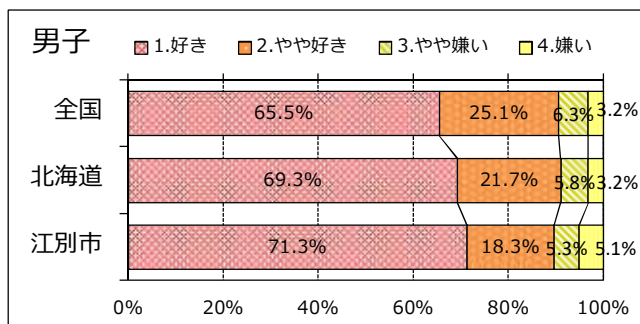
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の平均値、質問の割合に対し、

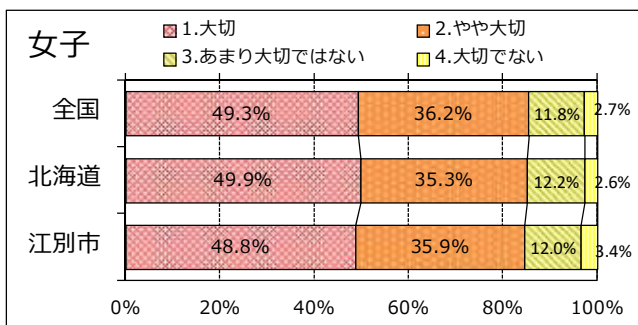
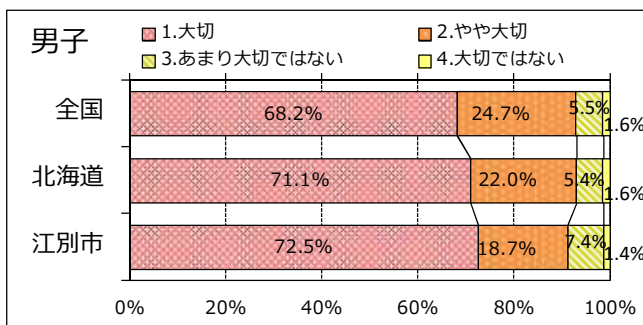
① 5ポイントを超えて高い・・・上回っている ② 1ポイント超～5ポイント・・・やや上回っている ③ ＋－1ポイント以内・・・ほぼ同程度

④ －1ポイント超～5ポイント・・・やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い・・・下回っている

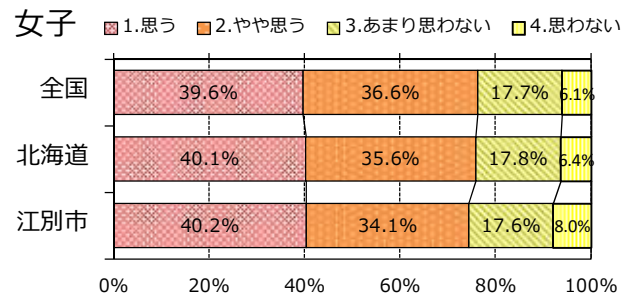
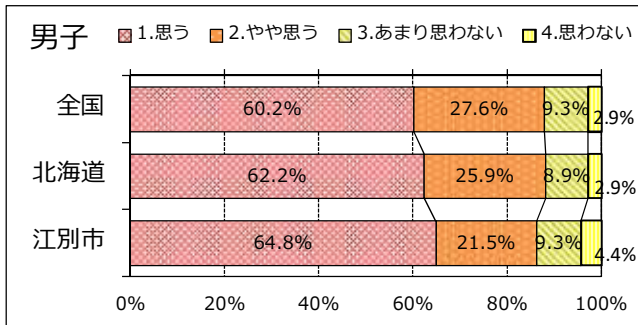
運動が好きですか



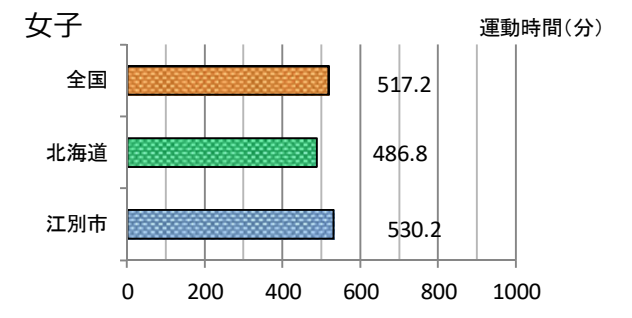
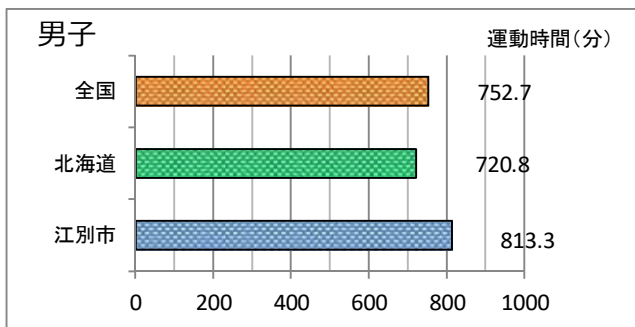
運動することは大切なことですか



中学校卒業後も自主的に運動したいですか



保健体育の授業以外の1週間の総運動時間(北海道の記録には札幌市は含まれない)



<保健体育の授業>

○保健体育の授業が「楽しい」・「やや楽しい」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均とほぼ同程度である。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともに上回っている。

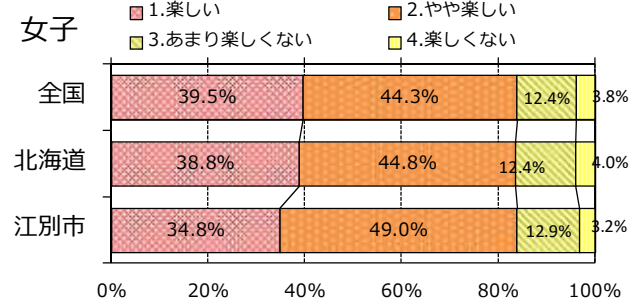
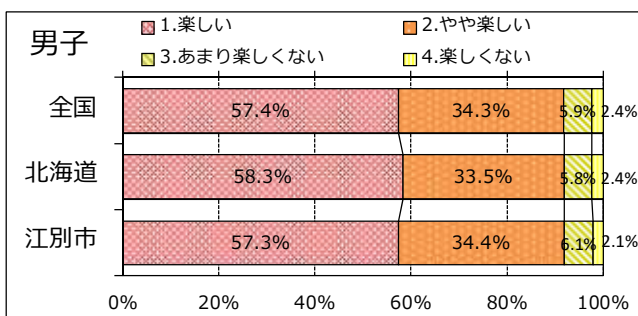
○体育の授業について、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均をやや下回り、女子はほぼ同程度である。本市昨年度の調査結果と比較して、男子は全国平均を上回り、女子はやや上回っている。

○体育の授業について、ICTを使った学習で『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均を上回っている。「いつもある」と回答した生徒は男女ともに全国平均をやや上回っている。ICTの積極的活用についてさらに努めていかなければならない。

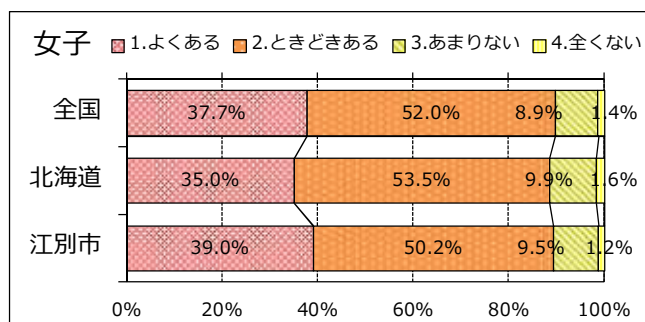
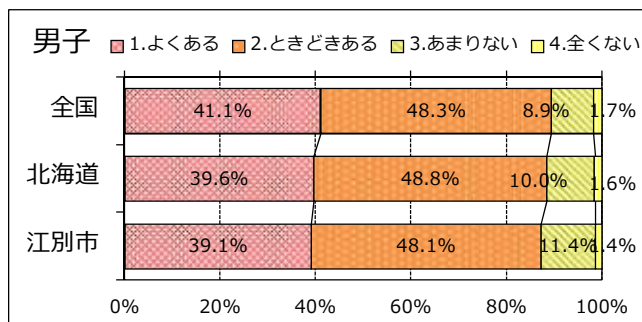
○体力・運動能力向上の目標を立てているかについて、男女ともに全国平均をやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はやや上回り、女子はやや下回っている。

○授業では今後も目的やねらい、振り返りを明確にした授業を行い、授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

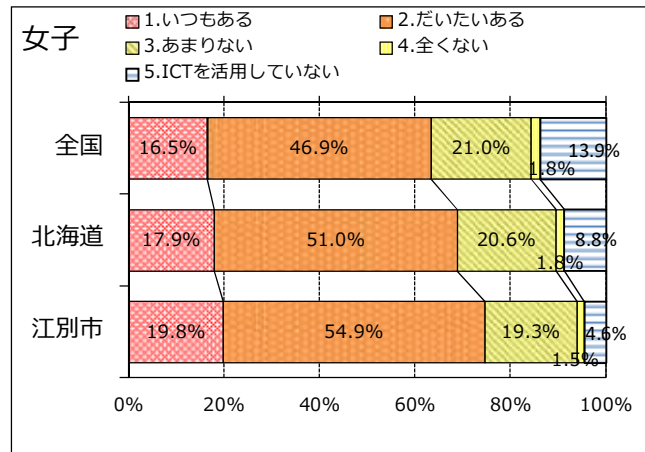
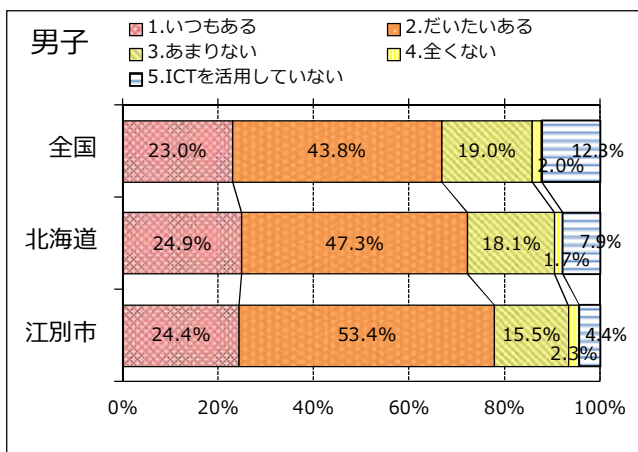
保健体育の授業は楽しいですか



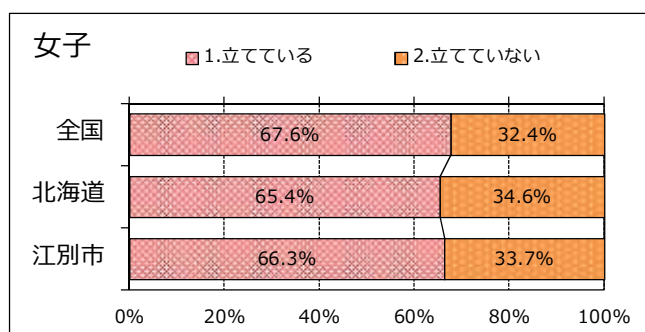
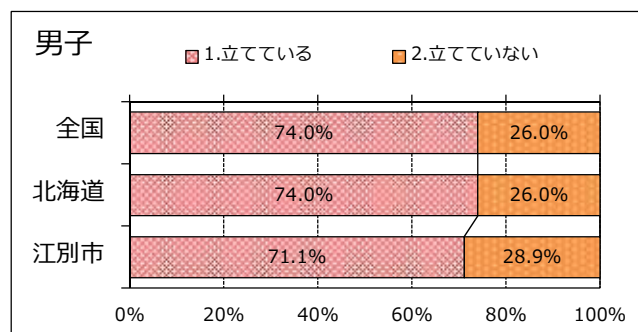
体育の授業で、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で
「できたり、わかったり」すること



体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること



体力・運動能力向上の目標を立てているか



V 学校質問紙調査の結果

<体力の向上に関して>

○学校全体で体力・運動能力向上の目標を設定している学校の割合は小学校は100%であるが、中学校では87.5%となっている。目標の設定は100%としたい。

○調査結果を踏まえた取り組みを行っている学校の割合は小中ともに100%である。

○授業以外で体力・運動能力向上の取り組みを行っている学校の割合は小学校は100%で、中学校でも全国平均を上回っている。具体的な取り組みとして、小学校では「記録カードなどを利用し自己の成果を記録した」が70%を超え、「自主的な準備・計画」「児童が行える運動遊びの種類を多く設定した」が高い割合となっている。中学校では「生徒による自主的な準備・計画を取り入れた」が100%で、「縦割りでの交流」「学級対抗などの対戦形式」が高い割合となっている。児童・生徒が体力・運動能力向上の取り組みに高い関心・意欲をもつこと、また、担任・教科担任だけの取り組みではなく、学校全体の取り組みとなるよう環境の整備をすすめる必要がある。

○授業での目標の提示について、「いつも」とする回答は小中ともに全国平均を上回っている。

○授業を振り返る活動について、「いつも」とする回答は小中ともに全国平均を上回っている。

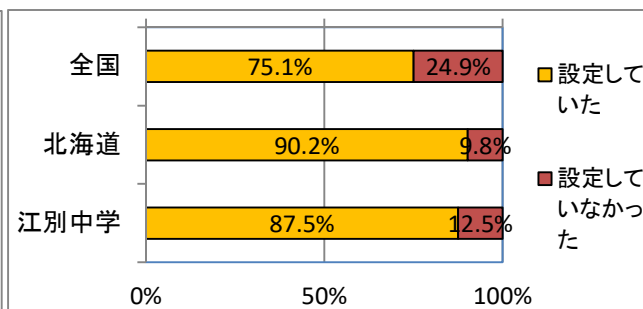
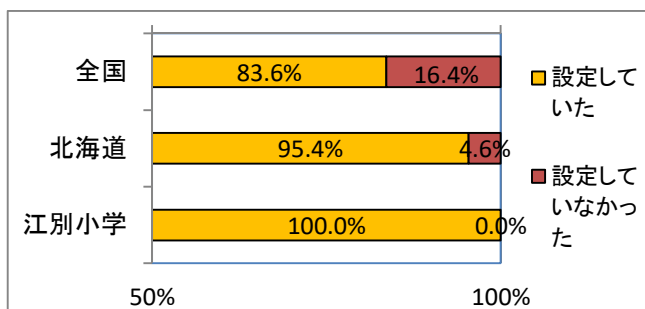
○今後も目的やねらい、振り返りを明確にした授業を行い、さらなる授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

○小中一貫教育を進めるうえで、各中学校区において目標や効果的な取り組みを共有し、体力・運動能力のさらなる向上に努める必要がある。

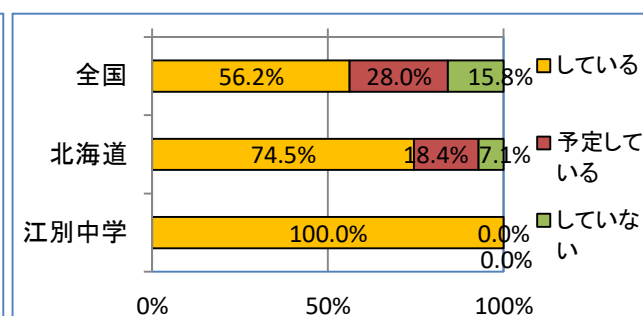
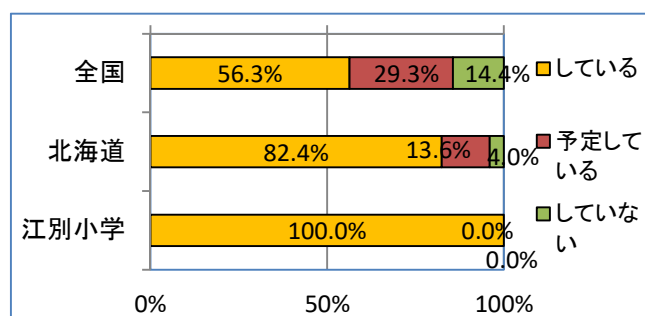
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。全国の平均値、質問の割合に対し

① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度 ④ -1ポイント超～-5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

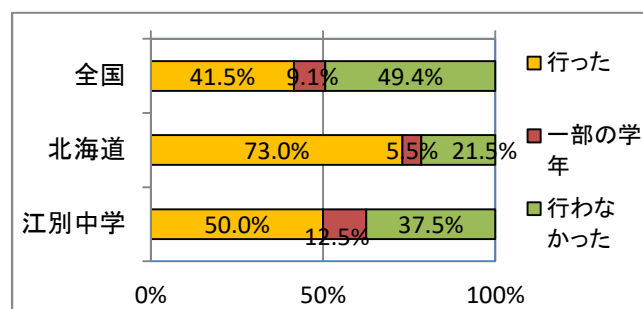
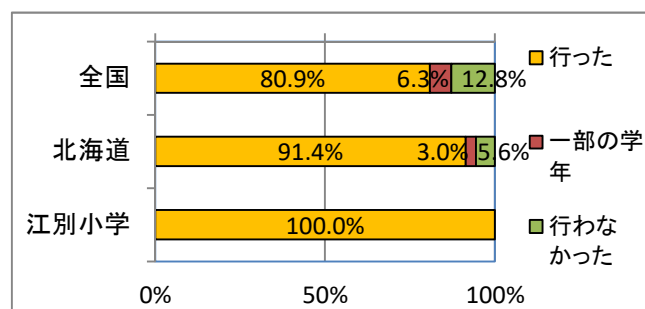
学校全体で体力・運動能力向上の目標設定をしていますか



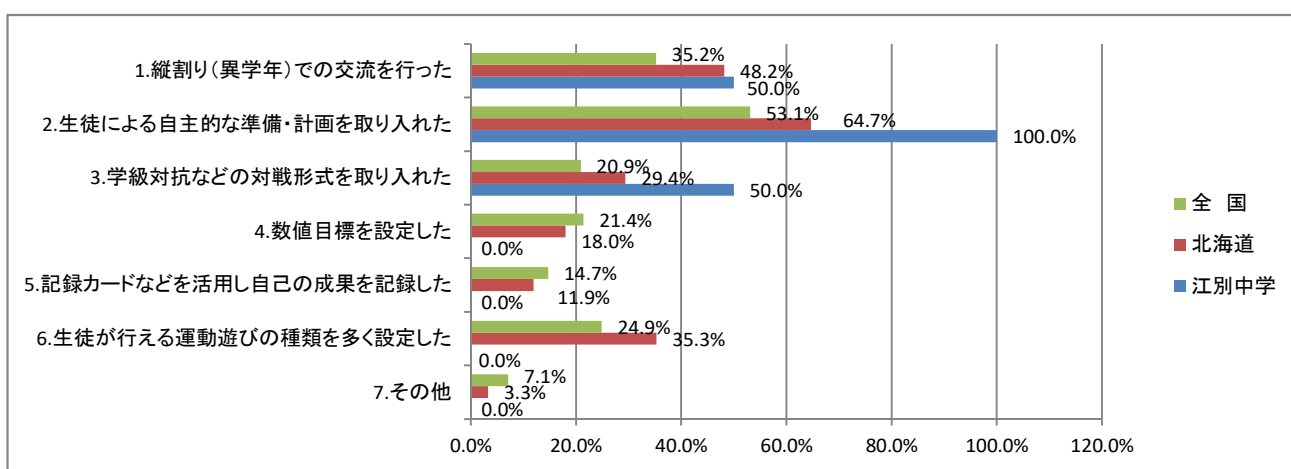
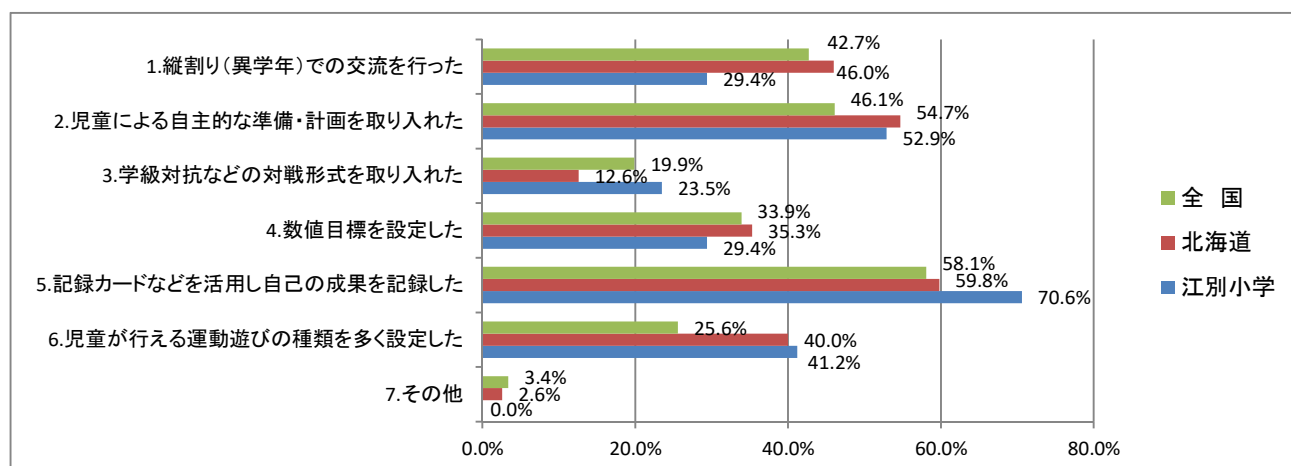
調査結果を踏まえた取り組みを行ったか



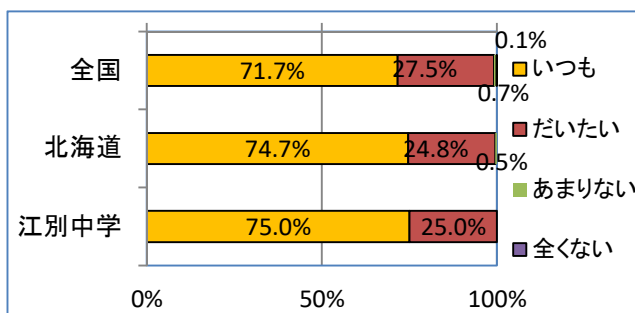
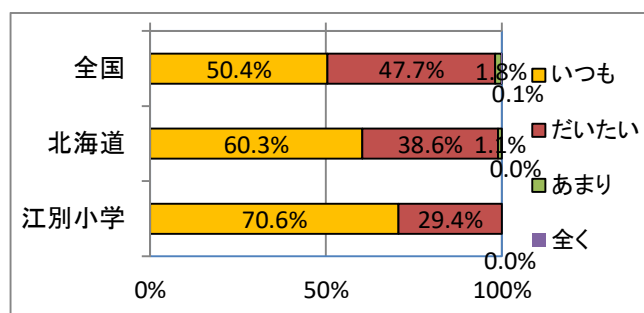
授業以外で体力・運動能力向上の取り組みを行っていますか



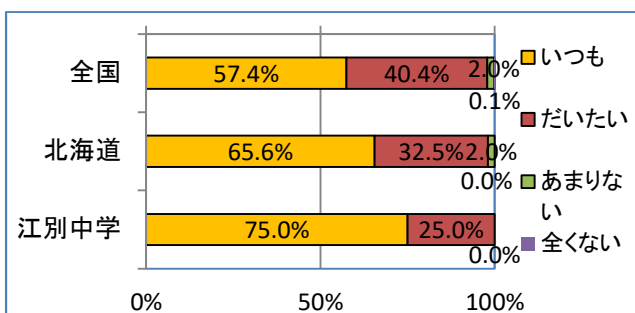
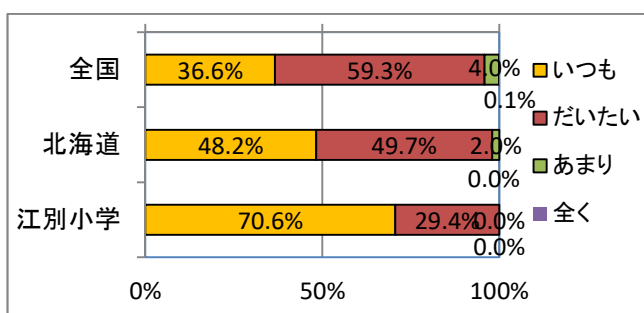
体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取り組みとして何をしたか



授業の目標を児童生徒に示す活動を取り入れていますか



授業を振り返る活動を取り入れていますか



＜家庭との連携、啓発に関して＞

○体力向上に係る「家庭との連携」について、「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」「生活習慣改善のための資料を配布している」「運動やスポーツを実施することを啓発するための資料を配布する」などを行っているが、引き続き学校から家庭への情報発信を行い、より効果的な取り組みをめざしていく必要がある。

○また、体力の向上のためには食育とともに生活習慣の改善も大切である。学校は家庭と連携し、体力づくりの基盤としての体づくり(食育を含む)と生活習慣の改善を両輪として進めていかなければならない。

○児童・生徒の成長に合わせた効果的な取り組みを学校・家庭・地域が一体となって行う必要がある。小中一貫教育をふまえ、めざす子ども像を家庭・地域と共有し、学校からの情報発信を継続していかなければならない。

運動やスポーツ、生徒の体力についての家庭との連携(複数回答可)

